

目次

はじめに
執筆者一覧
放送日程

第 I 部 アジア世界の環境

第 1 章 アジアの気候・風土

—アジアモンスーンと稲作農耕文化— …………… 2

はじめに

第 1 節 アジアモンスーン

1 モンスーンとは／2 モンスーンアジアの気候／
3 アジアモンスーンの成因／4 アジアモンスーンの
強弱とテレコネクション／

第 2 節 アジアの気候と植生分布

第 3 節 水田稲作農耕

1 はじめに／2 水田稲作に至るまで／3 異常気象
と水田稲作／

第 4 節 地球温暖化とアジアモンスーン

第 2 章 アジアのデルタと環境変化 ……………19

はじめに

第 1 節 アジアにおけるデルタの形成と発達

1 台地と低地／2 デルタの生い立ち／

第 2 節 アジアのデルタの形成過程

1 ガンジスデルタの地形と形成過程／2 長江デルタ
の地形とその形成過程／

第 3 節 デルタの地形と土地利用

1 デルタの微地形／2 デルタの自然と土地利用／

第 4 節 環境変化とデルタ

1 洪水・高潮と地形／2 地球規模の環境変化の影響／

第3章 東南アジアの発展と自然との共生41

はじめに

第1節 地球環境破壊の現状

1 バイオスフェア(地球絶対生命圏)とは / 2 地球の水 / 3 東南アジアの緑と水は足りているのか? /

第2節 人間よ、傲るなかれ (4つのエピソード)

1 タイ国北部の森が消えた / 2 インドネシアの海岸では / 3 アンダマン海の珊瑚採り / 4 パプア・ニューギニアの酋長達 /

第3節 東南アジアの食糧事情

第4節 それでも車は要りますか?

第5節 産業廃棄物、ゴミの始末はどうつける?

第6節 吾等人間何をなすべきか

おわりに

第II部 アジア世界の資源と開発

第1章 アジアの地下資源とエネルギー64

はじめに

第1節 アジアの地質

第2節 アジアの地下資源と日本

1 エネルギー資源 / 2 金属資源 / 3 非金属資源 /

第3節 21世紀に向けて

第2章 「緑の革命」後のアジアと日本80

第1節 構造構成段階から管理運営段階に踏み出した灌漑政策

1 「緑の革命」の終焉 / 2 資源制約の時代における資源管理問題 /

第2節 新しい土地・水利用体系を模索するバリ島農業

1 米自給達成にみるインドネシア農業の到達点 /
2 バリ島における米自給達成後の農業 / 3 バリ島農家の農地利用 /

第3節 バリ島の水利組織の機能と社会的規範

1 バリ島の水利組織スバックの構造と機能／2 P 3

Aと対比したスバックの特質／

第3章 インド移民から見た東南アジア世界97

はじめに

第1節 インド移民がやって来た

第2節 国際的な商品経済の隆盛

第3節 インド移民とプランテーション

第4節 都市のインド移民

第III部 戦争から自立へ

：アジア近代の道

第1章 東南アジア史の中の日本占領112

はじめに

第1節 軍政の開始

第2節 人種政策

第3節 経済政策

第4節 労働力の動員

第5節 宣撫と大衆動員

第6節 軍事訓練と大衆動員

第7節 抗日運動

第8節 日本軍の降伏

第2章 東南アジアの国民国家と日本125

第1節 東南アジア諸国の戦後

1 独立／2 経済の発展／

第2節 国民国家の建設

1 国民国家／2 国境／3 国民／4 東南アジア諸国の国民国家建設／5 国民の創出とその問題点／

第3節 インドネシアの国家建設

- 1 地理的、歴史的背景／2 独立運動と国家の構想／
- 3 独立後の国家建設／4 スカルノ大統領時代／
- 5 スハルト体制／6 国民文化の創成／

第4節 日本と日本人のかかわり

第3章 戦争のふり返り方

—日本人とアジアの隣人を隔てるもの— ……………140

- 第1節 日本人の戦争観
- 第2節 転機となった1982年歴史教科書問題
- 第3節 日韓歴史教科書研究会のこと
- 第4節 侵略・植民地支配の史実を正視しつつ、連帯の遺産の継承を

第IV部 協力から共存へ

：アジア協調の方法

第1章 日本企業のアジア化とアジア企業の日本化 ……………154

- 第1節 アジア経済のダイナミズム
- 第2節 アジアダイナミズムの歴史的な位相
- 第3節 アジア地域における工業的転換をもたらした要因
- 第4節 日本企業の対アジア進出と技術移転
- 第5節 日本企業の技術移転
 - 1 松下電器／2 ミネベア（タイ）／
- 第6節 「日本企業のアジア化」と問題点
- 第7節 「アジア企業の日本化」
- 第8節 日本の針路

第2章 A P E C（アジア太平洋経済協力）と日本 ……………180

- 第1節 世界経済の組織化
 - 1 第二次世界大戦後の国際経済秩序／2 ガットの構造／3 ガットのラウンド交渉／4 保護主義の台頭／
 - 5 ウルグアイ・ラウンドと世界貿易機関／

第2節 地域経済統合の進展

- 1 世界の地域統合／2 EUへの発展／3 NAFTAの成立／4 ASEANと市場統合／

第3節 APECの成立と展開

- 1 APECの成立／2 APECの組織化／3 大阪会合／

第4節 日本企業の国際化とAPEC

- 1 日本企業の東アジアにおける分業構造／2 域内分業と地域統合／3 APECの将来と日本／

第3章 医療技術の教育と地域保健

A 中国の実践例199

はじめに

第1節 日本の医療技術者養成

- 1 医学教育の教育制度発足について／2 診療放射線技師教育の発足／

第2節 中国・診療放射線技師養成の紹介

- 1 泰山医学院 放射系／2 山東省衛生学校／

第3節 中国と交流、そして“一見”

- 1 交流を盛んにして／2 中国の“一見”／

おわりに

B パキスタン・カラチの実践例215

はじめに

第1節 緒言

第2節 調査目的と方法

第3節 現地の状況

第4節 調査の結果と今後の問題

第5節 地域小児保健活動定着のために

おわりに

第V部 <ディスカッション>

アジアの将来、日本の将来

第1章 「拡大中部圏」がアジア学の要に ……………	230
第1節 自己の体験から	
第2節 日本と留学生の抱える問題	
第3節 世界とアジアの中の東海・北陸地区	
第4節 アジアの現状と日本	
第2章 激変するアジアと日本の役割 ……………	238
はじめに	
第1節 アジアと日本	
第2節 日本から学ぶことが多い	
第3節 日本への期待	
第3章 すべての個人が平等に生きる多民族社会の実現を めざして ……………	244
第1節 アジア系を中心に様々な民族の人々が暮らしている日本社会	
第2節 日本における制度整備等の必要性	
第3節 東アジア共通の課題	
第4章 アジアと日本との交流の新たな一歩を ……………	252

